

経済情勢
(2011年10月分)

2011年11月
在コロンビア日本大使館

I 概要

- 議会は18日、2012年予算案を可決承認した。総額は前年比+9.5%の165.3兆ペソ（注：約870億ドル）。
- サントス大統領は、今般新設された労働省の新大臣に、ラファエル・パルド・ルエダ氏（自由党党首、元国防大臣）を任命した。
- 米議会は12日、米・コロンビア FTA 実施法案、及び、一般特惠関税制度（GSP）、貿易調整支援（TAA）及びアンデス通商促進麻薬撲滅法（ATPDEA）の更新法案を可決し、オバマ大統領が21日に署名した。
- 10～14日、韓国・コロンビア FTA 交渉第5回会合がソウルにて開催された。11月のミニ・ラウンドを経て、次回12月会合での交渉終了を目指す。

II 主な出来事

<国内情勢>

(1) 経済見通し：サントス大統領（27日、当地紙報道）

サントス大統領は26日、全国金融機関協会（ANIF）総会にて、コロンビア経済は好調である旨強調し、海外直接投資（1-9月は前年同期比+54%）、実質GDP成長率（第2四半期は同+5.2%、第3四半期はそれを上回ると予想）、輸出（1-9月は同+44%）、失業率（9月は10.2%、年内に一桁台を達成すると予想）、及び、商業、建設、金融等部門動向を鑑みるに、景気を減速させることなく世界的な金融危機に立ち向かう用意は出来ているとした。

(2) 経済政策

(ア) 2012年予算案を可決承認（20日付財務省プレスリリース）

議会は18日、2012年予算案につき前年比+9.5%の165.3兆ペソ（注：約870億ドル）を可決承認した。内訳は、一般行政費が89.6兆ペソ、公債費が38.7兆ペソ、投資的経費が36.9兆ペソとなっており、部門別では、社会保障費が32.7兆ペソ、教育費が23.1兆ペソであるほか、国防・治安対策費が23.9%とGDP比3.7%を占めている。

政府が掲げる成長エンジンには総額11兆ペソが充てられ、インフラ整備に6.8兆ペソ、都市交通を含む住宅建設に1.7兆ペソ、農業振興に1.6兆ペソがそれぞれ配分されている。また、民間投資が見込まれる鉱山エネルギー開発及び技術革新については、それぞれ7,790億ペソ、610億ペソが充てられた。エチェベリ財務相は、資金調達には、税収、エコペトル等公的機関収益及び国内外借入によって賄うと述べた。

なお、同予算案は今後大統領裁可へと進み、成立する予定である。

(イ) 労働大臣任命

サントス大統領は31日、今般社会保障省から厚生省と労働省とに二分され新設された労

働省の大臣に、ラファエル・パルド・ルエダ氏（自由党党首、元国防大臣）を任命した。労働省の主要課題は、最低賃金交渉、年金改革、失業率の一桁台達成、石油部門における労働問題の解決、協同組合（Cooperativas de Trabajo Asociado）の撤廃等となる。なお、サントス大統領は労働省の創設を選挙公約としていた（なお、2011年5月4日に公布された法律第1444号にて、省庁再編に関して大統領に一括授権することを定めているため、大統領の任命により、正式に大臣に任命されることとなった。注：11月に就任）。

（ウ）国家炭化水素庁（ANH）、新長官就任

6日、アルマード・サモラ氏に代わりオランダ・カブラレス氏が国家炭化水素庁（ANH）新長官に就任した。カブラレス新長官の主要課題は、石油生産量100万バレル／日の達成及び投資環境の改善等である。

（3）インフラ関係

（ア）世銀融資

世銀コロンビア事務所のグロリア・グランドリーニ氏は、国内のインフラプロジェクトに対し、2012年中に総額6億ドルを融資する旨発表した。内訳は基礎衛生分野に2.5億ドル、中規模都市の都市交通に3.5億ドルとなっている。

（イ）米州開発銀行（IDB）融資

IDBコロンビア事務所のハビエル・レオン所長は、インフラプロジェクト、とりわけ対米FTAに向け優先順位の高い案件について、7億ドルを融資する旨発表した。

（ウ）カルドナ運輸相発言

カルドナ運輸相は、対米FTAを視野に、国内道路建設・整備のため年内に6.5兆ペソ投じる旨発表した。また、リネア・トンネル第2号線の入札を年末までに発表するとした。

（エ）入札案件の開示

政府は23日、18の入札案件を開示した。投資総額は3.6兆ペソで、道路総距離1,300キロメートル、橋127、トンネル15等が含まれている。サントス大統領は、これは「国内課題（Agenda Interna）」と称される競争力向上のための措置の一環であると説明した。

（オ）バランキージャ港

国家道路機構（Invias）は、25日にバランキージャ港の拡張工事が終了したと発表した。これに伴い深さはこれまでの9メートルから14.5メートルとなったことで、積荷4万トン、水深45フィートの船舶の入港が可能となった。

（4）企業動向

（ア）三菱自動車（27日、当地紙報道）

26日、三菱自動車の販売代理店であるMotorysa社とスペイン電力大手Endesa社は、ポ

ゴタ市内での試験走行を目的として三菱自動車の電気自動車「i-Miev」を2台導入する旨、合意書に署名した。導入時期は年末を予定している。ボゴタの地形や交通事情を踏まえたテストを行うほか、新技術の導入にあたり、電力供給のためのインフラを含む技術面や、商業面、ファイナンス面及び法律上の実現可能性についても調査を行う。

(イ) 国営発電会社 ISAGEN (12日, 当地紙報道)

ISAGENのルイス・フェルナンド・リコ社長と米州開発銀行(IDB)コロンビア事務所のハビエル・レオン所長は、当国初となる地熱発電の調査に170万ドル寄付することで合意した。同プロジェクトは、カルダス県ビジャ・マリア市ネバド・デル・ルイス近郊に発電プラントを建設するもので、投資総額は4億ドルに上るとみられる。

<対外関係>

(1) 対米FTA関連

米議会は12日、米・コロンビアFTA実施法案、及び、一般特惠関税制度(GSP)、貿易調整支援(TAA)及びアンデス通商促進麻薬撲滅法(ATPDEA)の更新法案を可決し、オバマ大統領が21日に署名した。これに伴い、本年2月12日以降無効となっていたATPDEAは、2013年7月末まで延長されることとなった。

サントス大統領は同FTAについて、更なる経済成長、雇用創出、貧困削減、輸出及び投資増加に繋がるとして、「史上最も重要な出来事」と歓迎した。他方、同FTA発効を視野に、「国内課題(Agenda Interna)」と称される競争力向上のためのインフラ整備や産業別政策が再び注目されている。

(2) 対カナダ関係

輸出振興機構(Proexport)は27日、28日の2日間、トロントにてビジネス・マッチング・イベントを開催し、コロンビア輸出企業150社、カナダ輸入企業120社が参加した。コロンビア側参加企業は分野別に、①既製服製造(水着、寝間着、下着、ジーンズ、Tシャツ、革製品、子供服等)、②アグロインダストリー(加工果物、菓子、製パン、カカオ派生品、コーヒー、ヤシ油、砂糖、蜂蜜、甘味料)、③建設資材(外装用の石、瓦、金属メッキ、金具、供排水調節具、洗面所、台所等)、④デジタルコンテンツ及びITソフトウェア等であった。

(3) 対ベネズエラ関係

コロンビアとベネズエラの両政府は24日ボゴタにて、オルギン外相とマドゥーロ外相を筆頭に二国間協議を開催し、両国国境地帯における治安、エネルギー、インフラ及び社会投資の協力に関する合意文書に署名した。通商分野では、ベネズエラのアンデス共同体(CAN)脱退以降延長してきた二国間関税撤廃措置を2012年1月22日まで延長することで合意した。また、エネルギー分野では、ベネズエラの石油をコロンビア経由で太平洋岸に輸送するための石油パイプライン(「Antonio Ricaurte」)を建設する会社を設立することに合意した。

(4) 対韓関係

コロンビア及び韓国両政府は、10～14日に行われた韓・「コ」FTA交渉第5会合（於：ソウル）にて、第6回会合をボゴタで12月初旬に開催することで合意した。他方、両国政府は第6回会合での交渉終了を目指しているところ、11月14～16日の日程で、米国にてミニ・ラウンドを開催することも決定した。同ミニ・ラウンドでは、争点となっている農業関連産業及び自動車や家電製品等が協議される。

<経済指標>

(1) 経済活動全般

(ア) 実質工業生産指数 (DANE 発表)

8月の実質工業生産指数（コーヒー豆加工を除く）は前年同月比+9.5%となった（前月は同+4.0%）。製糖（同+32.6%）、油、脂及び果物・野菜加工（+30.0%）、自動車・同部品（同+29.7%）等の伸びが大きかった。

(イ) 実質小売売上高指数 (DANE 発表)

8月の実質小売売上高指数は前年同月比+9.7%となった（前月は同+13.4%）。家庭用情報機器（同+30.5%）、自動車・二輪車（同+22.1%）等が好調であった。

(ウ) 消費者信頼感指数 (Fedesarrollo 発表)

9月の消費者信頼感指数 (ICC) は23.1%と、2ヶ月連続して前月を下回る結果となった。なお、前年同月は34.5%であった。

(2) 産業動向

(ア) 原油生産量 (国家炭化水素庁 (ANH) 発表)

9月の原油生産量は前年同月の日量80.0万バレルから同89.1万バレル（エコペトルル関連同71.9→77.9万バレル、その他同0.8→11.2万バレル）へと増加した。

(イ) コーヒー

(i) 生産及び輸出 (コーヒー生産者連合会 (FNC) 発表)

FNC加盟コーヒー生産者による9月のコーヒー生産量は、洪水被害に伴い前年同月の53.0万袋（1袋=60kg）から45.9万袋へと減少した。同輸出量についても、52.7万袋から47.1万袋へと減少した。他方、輸出額は1.9億ドル（前年同月は1.6億ドル）であった。

(ii) 価格 (国際コーヒー機関発表)

9月のコロンビア産マイルド・アラビック・コーヒーの価格は前月と同じ月平均1ポンド=2.88ドルであった。

(3) 物価・雇用 (DANE 発表)

(ア) 物価

9月の消費者物価上昇率は+3.73%（前年同月比、以下同）と、食料（+4.61%→+5.71%）

が主因となり前月の+3.27%から加速した。なお、中銀のインフレ目標は $3\pm 1\%$ 。また、9月の生産者物価上昇率は+6.63%（前月は+5.24%）であった。

（イ）雇用

9月の全国平均失業率は9.7%（前年同月は10.6%）となり、2010年8月以降の低下傾向を維持したほか、政府目標である一桁台を約10年振りに達成した。なお、主要13都市の平均失業率についても、前年同月の12.2%から10.4%へと大幅に改善した。

（4）金融：金融政策

28日、中銀理事会は定例政策決定会合を開き、政策金利を3ヶ月連続して4.50%に据え置く旨発表した。世界的な金融及び経済におけるリスクがコロンビア経済に及ぼし得る影響を考慮し、同決定をした。また、為替政策として11月以降は、対ドル為替レート（TRM）が前20営業日移動平均比4%以上のペソ安もしくはペソ高となった場合、2億ドルのプット・オプション乃至コール・オプションのオプション入札方式を実施する旨決定した。

（5）税収（国税・関税庁（DIAN）発表）

8月の税収は前年同月比-10.5%の5.1兆ペソとなり、内訳は所得税（3.6兆ペソ）、付加価値税国内徴収分（0.8兆ペソ）、金融取引税（0.5兆ペソ）、関税（0.4兆ペソ）、付加価値税国外徴収分（1.1兆ペソ）等であった。1～8月累計では、前年同期比+25.2%の59.3兆ペソとなった。なお、オルテガDIAN長官は21日、2011年の税収見通しについて、好調な経済と脱税取締りの強化により、当初の77兆ペソを上回る85兆ペソになろうとした。

（6）貿易収支（DANE発表）

8月の貿易収支（FOB）は、前月に続き輸出の伸びが輸入を大きく上回り、前年同月の8,340万ドルの赤字から4.4億ドルの黒字に転じた。輸出（FOB）は+50.5%（前年同月比、以下同）の49.7億ドルと、原油・石油製品（+63.1%、23.4億ドル）及び石炭（+51.7%、8.8億ドル）の伸びが大きく貢献した一方、輸入（CIF）は主に自動車・同部品（+50.9%）が増加したことから+31.9%の36.1億ドルとなった。なお、1～8月累計の貿易黒字は35.8億ドル（前年同期比+96.9%）となっている。

Ⅲ. 主な経済指標

(1) 経済活動指数 (単位：%，出所：DANE)	10/8	11/6	11/7	11/8
(ア) 実質工業生産指数 (前年同月比)	5.3	2.8	4.0	9.5
(イ) 実質工業売上高指数 (同)	5.2	3	4.7	9.4
(ウ) 実質小売売上高指数 (同)	13.3	12.0	11.9	9.7
(エ) 新規建設着工承認面積 (単位：万㎡)	137.9	326.2	179.0	177.1
(2) 失業率 (単位：%，出所：DANE)	10/9	11/7	11/8	11/9
(ア) 全国平均	10.6	11.6	10.1	9.7
(イ) 主要13都市平均	11.5	11.3	10.4	10.2
(3) 消費者物価上昇率 (単位：%，出所：DANE)	10/9	11/7	11/8	11/9
(ア) 前月比	-0.14	0.14	-0.03	0.31
(イ) 前年同月比	2.28	3.42	3.27	3.73
(4) 政策金利 (単位：%，出所：中央銀行)	10/10	11/8	11/9	11/10
	3.00	4.50	4.50	4.50
(5) 為替 (対ドル為替レート) (単位：ペソ，出所：中央銀行)	10/10	11/8	11/9	11/10
(ア) 月初	1,801.01	1,777.82	1,780.26	1,929.01
(イ) 月末	1,831.64	1,783.66	1,915.10	1,863.06
(ウ) 最高値	1,786.37	1,765.53	1,780.26	1,862.84
(エ) 最安値	1,846.41	1,811.68	1,915.63	1,972.76
(6) 株式指数IGBC (単位：ポイント，出所：「コ」証券取引所)	10/10	11/8	11/9	11/10
(ア) 月初	14,697.55	14,100.52	13,470.37	12,518.78
(イ) 月末	15,899.57	13,421.00	12,915.80	13,322.53
(ウ) 最高値	15,915.86	14,100.52	13,884.17	13,603.34
(エ) 最安値	14,688.34	12,702.19	12,853.70	12,518.78
(7) 貿易 (単位：百万ドル，出所：DANE)	10/8	11/6	11/7	11/8
(ア) 輸出額 (FOB)	3,298.9	4,709.1	4,890.4	4,965.2
(イ) 同 年内累計	25,703.1	26,800.2	31,690.6	37,039.7
(ウ) 輸入額 (FOB)	3,382.3	4,331.0	4,345.0	4,524.0
(エ) 同 年内累計	23,888.5	24,598.1	28,943.0	33,467.0
(8) 労働者送金 (単位：百万ドル，出所：中央銀行)	10/9	11/7	11/8	11/9
	331.2	327.4	379.7	346.0
(9) 対外債務残高 (期末値) (単位：百万ドル，出所：中央銀行)	10/6末	10/12末	11/3末	11/6末
(ア) 対外債務総額	55,771	64,723	67,844	68,935
(イ) 公的債務	37,738	39,546	39,821	39,669
(ii) 民間債務	18,033	25,177	28,023	29,267
(イ) GDP比 (単位：%)	19.3	22.4	20.6	20.9

(9) ガソリン価格 (単位：ペソ, 出所：鉱山・エネルギー省)	10/10	11/8	11/9	11/10
注：ポゴタのレギュラーガソリン1ガロン当たり	7,763.79	8,535.54	8,535.54	8,535.54
(10) 自動車販売台数 (単位：台, 出所：Econometria社)	10/9	11/7	11/8	11/9
(ア) 単月	23,579	26,799	28,500	28,883
(イ) 年内累計	173,888	185,016	213,516	242,399

(了)